

成功事例 | SUCCESS KUNBUS STORY REVOLUTION PI TECHNOLOGY THAT MOVES YOU FORWARD

SMART BUILDING CONNECTIVITY PLATFORM

使用したモジュール



RevPi Core

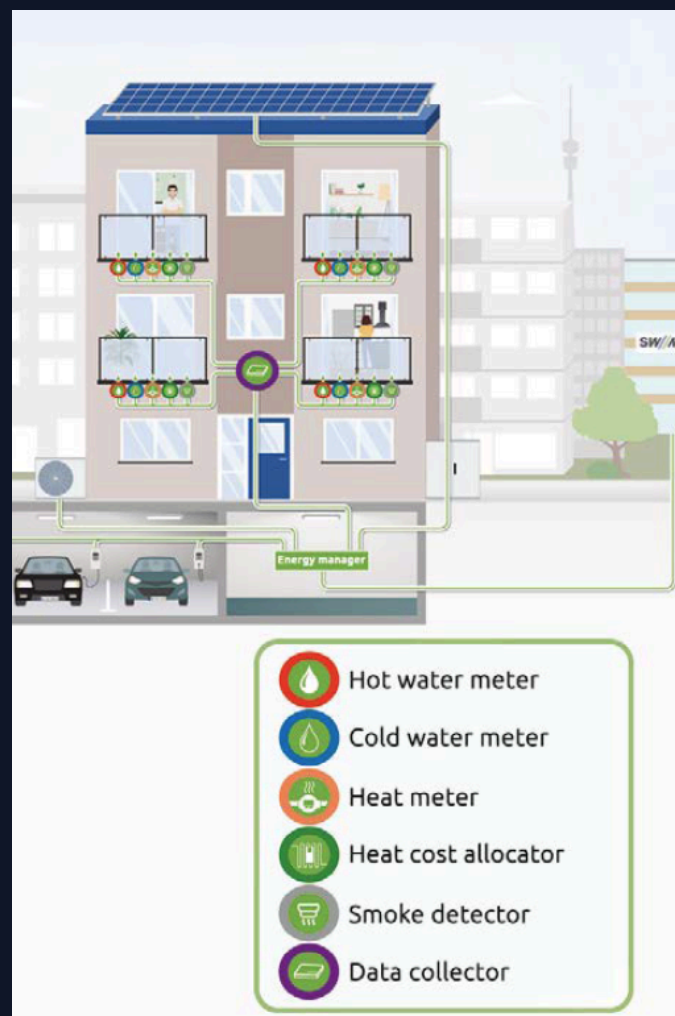
スマート ビルディング 接続 プラットフォーム

建物の外観は私たちに大きな第一印象をあたえますが、建物を支える目に見えないエネルギーの流れは、容易に見過ごされがちです。これらを最適化するために、SWM: Stadtwerke München（シュタットヴェルケ・ミュンヘン）は、Revolution Piをベースとした革新的なビルエネルギー管理システム（BEMS）を2024年3月に導入しました。

課題

シュタットヴェルケ・ミュンヘンは、複数の建物にまたがる既存および将来の技術を統合できる、効率的で拡張性の高いソリューションの開発という課題に直面していました。必要なコンピューティングパワーと柔軟性を提供できる強力なハードウェアプラットフォームの選択が必要でした。目標は、エネルギー消費を最適化するだけでなく、充電インフラとスマートメーターを統合し、エネルギーフローの透明性と制御を向上させることでした。

スマートビルディング接続プラットフォーム



成果と今後

今後、シュタットヴェルケ・ミュンヘンは、ヒートポンプ、太陽光発電システム、その他のスマートビルディング技術を統合することで、BEMSプラットフォームをさらに進化させる計画です。このソリューションの導入成功により、SWMは再生可能エネルギーの導入とミュンヘンにおけるモビリティの未来形成に大きく貢献しています。

SWMのMチャージングソリューションの詳細については、www.swm.de/ladenをご覧ください。



導入

ミュンヘン市庁舎は、クラウドベースのAzure IoTテクノロジーをベースとしたカスタムBEMSプラットフォームの開発を決定しました。徹底的な評価の結果、建物内のエネルギーフローの中央制御ユニットとしてRevPi Coreが選定されました。強力なクアッドコアプロセッサを搭載したRevPi Coreは、複雑なデータ処理と制御タスクに必要なコンピューティングパワーを提供します。豊富なインターフェースにより、幅広いデバイスやセンサーを柔軟に統合できます。堅牢な設計により、RevPi Coreは産業環境での使用に最適で、高い運用信頼性を保証します。エネルギーフローのインテリジェントな制御は、エネルギー消費を削減し、効率を向上させます。

リアルタイムの監視と制御機能により、エネルギーデータの透明性と精度が大幅に向上します。このプラットフォームは柔軟で拡張性に優れているため、容易に拡張できます。

これにより、持続可能なエネルギーの開発が強化されるとともに、環境に優しいモビリティソリューションが促進されます。